



一般財団法人mudef

年次報告書2012



はやいもので、mudef設立から3年が経ちました。

設立以前より行われてきたケニアの奨学支援でも、サポートした子どもたちの中には学校を卒業し、働き始めた子どもたちもたくさんいます。

また、マラウイに蚊帳を送る活動も2012年には目標数を達成、次の段階に向かおうとしています。蚊帳を送る活動のきっかけとなったエリナも、支援によって建てられた家で、新しい生活をスタートしようとしています。

私たちは「続ける事、伝える事、小さくても声をあげる事」を活動の軸に据えてきました。ミレニアム開発目標にある8つのテーマを音楽やARTを媒介にして伝えていくこと、それこそがmudefが行ってき

たことです。3年目となった2012年度は、新たにスポーツという要素も活動に加わりました。

私たちにできることには限りがありますが、それでも少しずつ、活動を広げられればと考えています。

引き続き皆様からの暖かいサポートをよろしくお願いいたします。

一般財団法人mudef 事務局長

長島 美紀

長島美紀



目次

mudefの理念	2
事業実施状況	3
Project Magoso	3
Child AFRICA	3
Love is Free Campaign	4
SATOYAMA BASKET	5
TICAD V関連事業	6
After School Project	6
MDGs啓発活動	6
Equine Facilitated Project	7
HOPE FOR JAPAN	7
事務局運営状況	8
運営体制	8
広報	9
収支報告	10
賛同企業・団体との連携	11
団体概要	12

mudefの理念



一般財団法人mudef（ミューデフ）は、「Music + Design」が組み合わさってできた言葉。

「音楽とART」を通じて、地球規模の課題を解決するために設立されました。

音楽やアート、そしてスポーツを通じて、貧困や教育、ジェンダー格差など、世界中で解決しなければならない様々な問題を取り上げ、サポートします。

現在アフリカ 2 か国での支援活動のほか、国内での森の保全活動など、幅広く活動を実施しています。

mudefはMDGS(ミレニアム開発目標)を軸に事業を展開しています。



GOAL1 貧困と飢えの撲滅



GOAL2 初等教育の完全な普及

-PROJECT MAGOSO

-Child AFRICA



GOAL3 男女平等の推進と女性の地位向上



GOAL4 子どもの死亡率の削減



GOAL5 妊産婦の健康改善



GOAL6 マラリアなど感染症の蔓延を防止

-Love is Free Campaign



GOAL7 環境の持続可能性の確保

-SATOYAMA BASKET



GOAL8 開発のための世界的なパートナーシップ構築

-TICAD V関連事業

-After School Project



そのほか

-HOPE FOR JAPAN

-Equine Facilitated Project

実施事業概要



1. Project Magoso

ケニアの首都ナイロビにある、アフリカでも最大規模のスラム、キベラスラムにあるマゴソスクールを応援するプロジェクト。マゴソスクールの運営に携わる早川千晶氏、マゴソスクール運営者たちとの協議し2012年度は主にマゴソスクール出身の子どもたちへのセカンダリースクール奨学金として使用されました。

マゴソスクール出身の子どもたちのセカンダリースクール奨学金

これまでにmudefでは、マゴソスクール卒業生のうち高等進学希望の成績優秀者12名、計13名のセカンダリースクールに通うための奨学金支援を実施しました。2012年度は9名の子どもを対象に支援を実施。そのうちエミテワ、オドンゴ、トニー、スティーブン、サブロン、アグネスの6人は2012年11月に無事セカンダリースクールを卒業し、学費の支援は終了となりました。2013年2月からはエミテワの弟ルワビの支援が始まったことから、現在支援者は4名となりました。今年度は177,859ケニア・シリング(日本円約21万3千円)が使用されました。

ケニア中等教育修了試験 (KCSE) とは

ケニアでは、8年間の小学校を終えて中学校に進学するために、小学校教育課程修了試験 (KCPE) を受けます。中等教育は4年間で、大学へ進学する場合、4年生は11月に行なわれるケニア中等教育修了試験 (KCSE) を受験する必要があります。試験に合格した生徒だけが、大学への入学が認められます。国立大学の入学生の枠は8,000人と制限されているため、非常に狭き門となっています。



2. Child AFRICA

Child AFRICAは、mudef設立に先駆けて世界中の子どもたちが教育を受けられる環境づくりを目的に、2008年8月からスタートしたプロジェクト。現在はmudefの一事業として、実施されています。

SCHOOL CARAVANの展開



途上国の子どもたちの置かれた現状を伝える、イベントリレー企画。学生を対象に和紙で作られたパネル計25枚を貸し出し、並べ方もレイアウトも学生の自主性に任せる企画。2012年度は大妻女子大学で実施された他、アフリカ関連のイベントへのパネルの貸し出しなども行いました。

- ・2012月10日20日～21日 大妻女子大学でパネル展
- ・2013年4月5日～7日 第6回アフリカンフェスティバルよこはま2013で掲出



3. Love is Free Campaign

2009年より始まった、マラウイの子どもたちへ蚊帳を配るキャンペーン。エイズ孤児をサポートする現地NGO「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」とともに、子どもたちが健やかに生活できる環境づくりを推進します。

蚊帳の配布第3弾



住友化学のマラリア予防に効果を上げている防虫蚊帳「オリセツト® ネット」をタンザニア工場より購入。2012年度は10月末に2000張を配布しました（うち1000張は住友化学のマッチング寄付）。

2009年から始まった配布活動での合計配布数は4500枚。当初目標としていた数に到達しましたが、現地NGOとの話し合い結果、配布対象地域を拡大し、7000張を配布する第二期目標を設定しました。

エリナの自立支援

同事業の開始には、マラウイで2008年に出会った少女、エリナが存在が欠かせません。彼女の老朽化した家と不衛生な住環境への衝撃から、蚊帳の配布による支援が始まりました。エリナはエイズ関連疾患にて両親を亡くし、祖母と2人暮らしをしていたのですが、これまでに老朽化で崩壊した家の再建支援や栄養支援を行ってきました。住居支援は終了しましたが、現地NGOと話し合いの上、彼女が自立した生活を送れるよう、自宅前の畑を耕作するための道具の支援を行いました。



マラリアとは



ハマダラ蚊が原因で発生するマラリアは、世界三大感染症の1つ。激しい高熱と合併症により、重篤な場合には死に至ります。世界100ヶ国以上の国で流行しており、全世界で、年間約65万人以上の死亡者があります。

死亡する人の多くが、体力の弱い、5歳未満の子ども。また、妊娠婦が感染すると、流産の危険や、出生時の体重低下が起こる可能性もあります。またマラリアの感染により、働き盛りの成人が働けなくなることで、経済活動の停滞も引き起こされています。

星空のショーコラ第4弾

キャンペーン開始以来継続してキャンペーン支援を行っていただいている、チョコレートデザイン社製のチャリティ商品「星空のショーコラ」の価格の10%が寄付に充てられるキャンペーンの第4弾が実施されました。今回の販売でいただいたご寄付は、次回の配布事業に充てられます。



コンソル・ホームズ・オルファン・ケア

マラウイ中部に位置するナミテテで活動する「コンソル・ホームズ・オルファン・ケア」。エイズと共に生きる人々（PLWHAs: People living with AIDS）を対象にした在宅ケアと、エイズなどで片親または両親を失った子どもたちへの支援を実施。約600名の現地ボランティアが協力して、7歳から18歳の子ども約14,000名の支援を行っています。

商品名：星空のショーコラ

販売期間：2013年1月7日～2013年3月31日

価格：368円（税込・送料別）

味：コーヒー味／紅茶味

蚊帳の配布事業の拡大へ

mudefでは、マラウイ以外に蚊帳の配布対象国の拡大を2012年度は検討しました。具体的には、西アフリカのセネガルで、蚊帳の配布を実施できないか、現地NGOや邦人開発コンサルタントに問い合わせ、現地のニーズを踏まえながら調査、調整を進めています。

西アフリカのセネガルは、一年を通してマラリアが発生しています（ピークは11月から12月）。セネガルでは4種類あるヒトマラリアのうち一番悪性度の高い熱帯熱マラリアが90%以上を占めます。近年セネガル政府により施行された疾病対策により罹患数は減少傾向にありますが、依然として首都ダカールでの感染報告も多数見られます。また2012年の洪水により衛生環境が悪化、それに伴うマラリアの発生も指摘されます。





5. SATOYAMA BASKET

2010年3月、MISIAが国連事務総長より生物多様性条約第10回締約国会議「COP10」名誉大使に任命されたことから始まった事業は、生物多様性の重要性を発信する活動として情報発信や森の保全活動などを実施しています。

石川・MISIAの森プロジェクト

津幡町にある石川県森林公園で約6ヘクタールの土地を「MISIAの森」として、借用。同地域の森の保存事業とアートプロジェクトを通じた生物多様性の普及啓発を行います。2012年度は森の保全活動として、植樹イベントや下草刈りなどを実施。また、生物多様性の重要性を知ってもらうために春と秋には富良野自然塾よりプログラム・コーディネート者を招へいた、地球の46億年の歴史を考える環境教育プログラムも行われました。その他、ゲーム機を用いた生きもの調査のほか、地元の小学生による定期的な森の観察活動も続けられています。2012年度は公益社団法人国土緑化推進機構「緑の募金中央事業・一般公募事業」の助成を得て、金沢工業大学による観察小屋の建設計画も進められています（完成は6月の予定）

【森の保全活動】

- ・2012年5月19日 植樹
- ・2012年7月25日 下草刈り

【生き物調査】

- ・2012年5月7日 小学生による生きもの観察



いしかわ 里山づくりキャンペーン

2012年5月にCOP10名誉大使であるMISIAをパーソナリティとしたラジオ番組「MISIAの森ラジオ～いしかわグリーンウェイブ～」が放送されました。

MISIA×YOKOHAMA

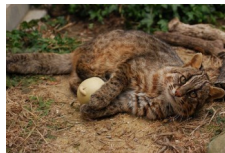
神奈川県横浜市栄区にある横浜自然観察の森や上郷森の家、また横浜市南部に広がる「つながりの森」エリアの魅力を発信する事業「横浜つながりの森プロモーション MISIAの森プロジェクト」が開始されました。2012年度は栄区より受託し、ポスター1種の制作、及びウェブサイトの制作を実施しました。

- ・2012年8月15日 くじらがおよぐ森
- ・2013年3月15日 春のイルミネーション点灯式



ツシマヤマネコ 応援キャンペーン

mudef、対馬市、対馬野生生物保護センターの三者共催による、ツシマヤマネコと人が共に住みやすい社会作りを応援する「ツシマヤマネコ応援キャンペーン」を実施。絶滅危惧種であるツシマヤマネコを応援する企画を広く一般から公募し、受賞作品決定しました。2013年3月にはfacebookページも立ち上がり、定期的に情報を提供しています。



SATOYAMA BASKET

絶滅危惧種の紹介を行う「識る」シリーズ、多様性や環境に関する本を紹介する「読む」シリーズの記事を更新中です（不定期）。

記事例

- ・識る- イシカワガエル
- ・識る- エゾオコジョ
- ・識る- マレーグマ
- ・識る- ユキヒョウ



生物多様性条約第10回締約国会議とは

2010年10月に愛知県名古屋市にて開催された、生物多様性条約（CBD）の10回目となる締約国会議（COP）。179の締約国、関連国際機関、NGO等から13,000人以上が参加し、遺伝資源の採取・利用と利益配分（ABS）に関する枠組みである「名古屋議定書」や、生物多様性の損失を止めるための新目標である「愛知ターゲット」などが採択されました。



6. TICAD V関連事業

日本政府が国連、世界銀行等と共催するアフリカの開発をテーマとする国際会議第5回アフリカ開発会議（TICAD V）名誉大使に任命されたことを受けて始めました。大使の活動のサポートのほか、アフリカに関連する普及啓発事業を展開しています。

TICAD V名誉大使MISIAのサポート



2013年1月にTICAD V名誉大使に任命されたMISIA。その大使としての活動をmudefではサポート。これまでに1月にスイス・ダボスで開催された世界社会フォーラムのレセプションへの参加とスピーチ、またその他月刊誌「ソトコト」をはじめとするメディアでの名誉大使としてのメッセージの発信をサポートしました。

Run for AFRICA



TICAD V（第5回アフリカ開発会議）を機会に、これまでアフリカに関心がなかったような人にも、スポーツを通じてアフリカの問題を知り、関心を持ってもらうためのチャリティイベントを企画。2013年6月1日に実施が決定しました。

特設サイト：<http://runforafrica.jp/>



◇開催：2013年6月1日

◇会場：日産スタジアム

◇共催：横浜市、日刊スポーツ新聞社

◇特別協賛：住友化学株式会社、特定非営利活動法人Malaria No More Japan

◇協力：スマイル アフリカ プロジェクト（月刊ソトコト）

◇後援：Water Aid Japan、オリンパス株式会社、外務省、NPO法人Creative Association、独立行政法人国際協力機構、UNDP（国連開発計画）、駐日代表事務所、UNHCR駐日事務所、国連広報センター、株式会社シミズオクト、国連人口基金東京事務所、世界銀行東京事務所、株式会社ヤクルト本社、公益財団法人横浜市体育協会、横浜市陸上競技協会

◇運営事務局：日刊スポーツ新聞社、株式会社横浜アーチスト

TICAD V（第5回アフリカ開発会議）とは



TICADとは、Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議）の略称。アフリカ開発をテーマとして、日本、国連、世界銀行、国連開発計画(UNDP)、アフリカ連合委員会(AUC)が共催する首脳会合です。アフリカ諸国首脳と開発パートナーとの間のハイレベルな政策対話を促進するために1993年に開始されました。アフリカ諸国のほか、開発パートナーであるアジア諸国、援助国、国際機関、市民社会組織、民間セクター、各国の議会などを含むさまざまな関係者が参加しています。



7. After School Project

事務局へボランティアに来てくれている大妻女子大学の学生4名が、国際的な課題や世界の様々な文化について、学生ならではの視点で考え伝えていくプロジェクトです。MDGsブログやSATOYAMA BASKETの記事の執筆のほか、自ら企画したイベント等を実施する予定です。

- ・2012年10月20-21日 SCHOOL CARAVANパネル展
- ・2012年12月15日 新定番！アフリカ料理でクリスマス！
- ・2013年3月14日 「バレンタイン」動画完成



8. MDGs 啓発活動

2012年度は学生ボランティアによるMDGsに関連するテーマブログ記事を定期的に更新。身近な話題から世界の知ってもらいたいたくさんの課題へとつなげていくことで、より多くの方へ問題意識を持っていただくことを目標にしています。

記事例

MDG2] チョコレートと児童労働

[MDG6] セサミストリートとマラリア

[MDG7] 薬、ときどき毒

9. Equine Facilitated Project

馬と馬をとりまく環境がもたらしてくれる恵みを目的をもって利用するプロジェクト EFP(Equine Facilitated Project)の活動のサポートを実施（エルセーヌグループの支援を受けて活動を実施しています）。



EFPの活動についてはこちら <http://equinefacilitatedproject.blogspot.jp/>



10. HOPE FOR JAPAN (東日本大震災支援)

SUMMER CAMPの実施

8月6日～8日に、横浜市に宮城県の小学生のサッカーチームを招待する2泊3日のサマーキャンプを実施しました。パートナー団体であるJENと、これまでも石巻支援活動を実施していた横浜市栄区の全面協力を得て、宮城県のサッカースポーツ少年団を横浜市へ招待。交流試合やバーベキュー交流会、植樹など盛りだくさんなプログラムで行われました。

また同イベントは、mundefMESSENGERである元サッカー選手の岩本輝雄さん、タレントのJOYさんにもご協力いただきました。



ミネラルウォーターを寄贈

理事のTAKURO氏が所属するロックバンド「GLAY」より寄贈されたミネラルウォーターを、パートナー団体であるCivic Force、JEN、ピースウィンズ・ジャパンの3団体へ贈り、被災地での活動にご活用いただきました。



「思いを伝えるということ」展サポート



mundef MESSENGERである大宮エリー氏（映画監督、作家）が仙台で開催した、「思いを伝えるということ」展を協賛、運営のサポートを行いました。



事務局運営状況

1. 運営体制

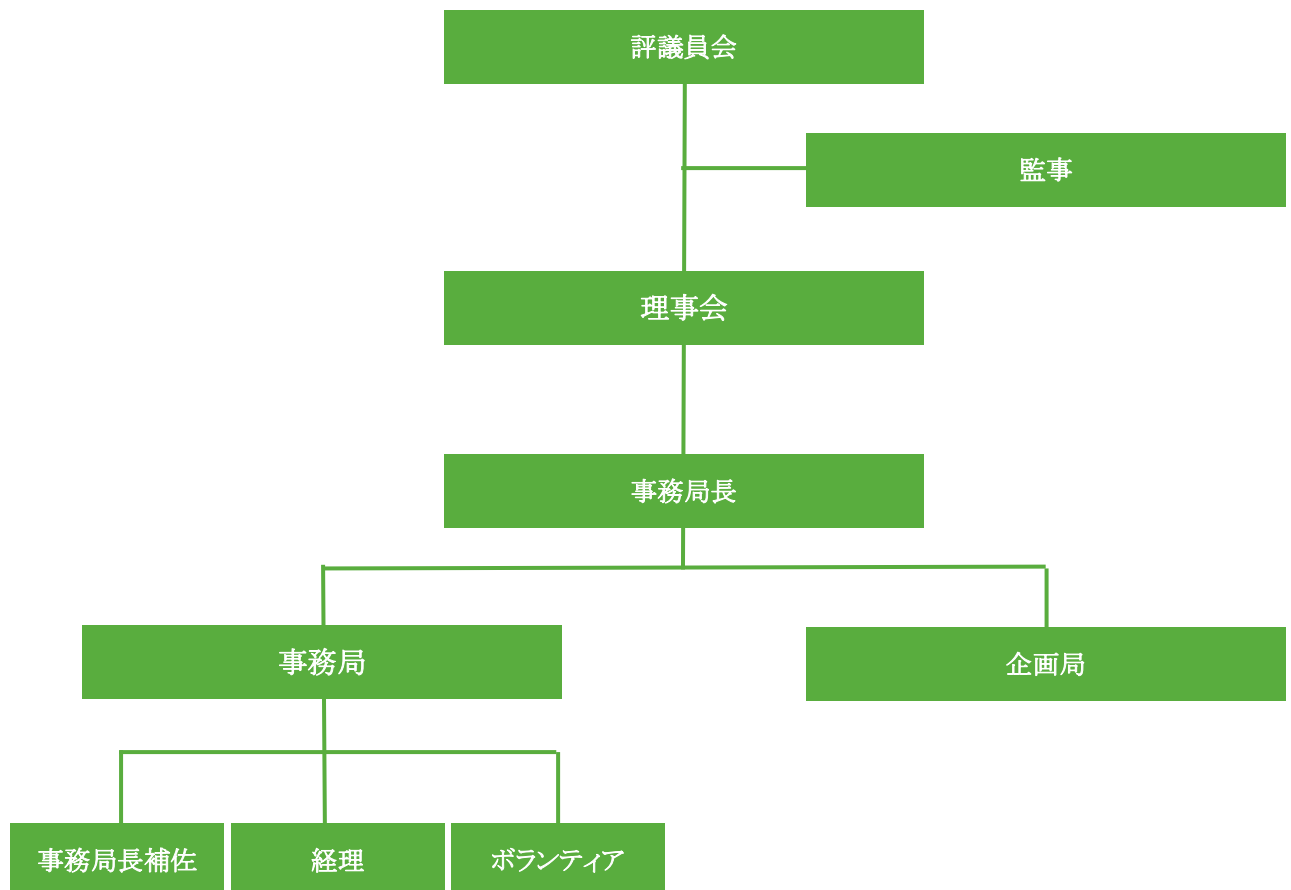
mufefでは事務局が事業を運営し、事業計画などを企画局と連携して策定しています。2012年度は事務局（専従1名、非専従2名）で運営に当たりました。

2012年7月19日 第2回評議員会

新規理事（杭州绿城足球倶楽部 岡田武史/株式会社電通 松中権/株式会社キョードー 後藤新治）を承認

2013年2月1日 第5回理事会

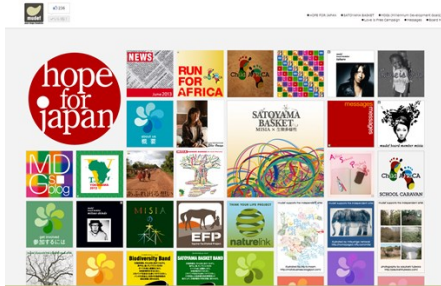
組織図



2. 広報

信藤三雄のディレクションのサイト運営による情報発信のほか、月1回mudefの今をお伝えするニュースレター「mudef news」の発行や月2回のメルマガ配信、適宜プレスリリースの発行に加え、twitterやfacebookを活用してのより広範な情報提供を行っています。

- mudefウェブサイト：www.mudef.net
- twitter：<https://twitter.com/mudef/>
- facebook：[mudef \(http://www.facebook.com/foundationmudef\)](http://www.facebook.com/foundationmudef)



掲載紙一覧リスト

2012年4月29日	北陸中日新聞「津幡で県民みどりの祭典 「MISIAの森」 観察など発表」
2012年5月1日	石巻圏広域広報誌「消防音楽隊に楽器寄贈」
2012年5月20日	北國新聞「MISIAさんと植樹 津幡・県森林公園 英田小児童ら」
2012年5月20日	北陸中日新聞「「MISIAの森」 本人が植樹 県森林公園 地元児童と一緒に」
2012年5月20日	中日新聞Web「「MISIAの森」 本人が植樹 県森林公園 地元児童と一緒に」
2012年7月5日	産経新聞「MISIAの森魅力発信 横浜市と共同プロジェクト」
2012年7月6日	朝日新聞「「MISIAの森」くじらふわり 来月栄区で催し」
2012年8月号	さかえタウンニュース「MISIAの森プロジェクト始動」
2012年7-8月号	すみともかがく「[この人に聞く]アーティスト、シンガー MISIAさん」
2012年8月3日	日本経済新聞「緑地保全 民間と連携」
2012年8月8日	神奈川新聞「森の魅力知って MISIAさんと市が連携」
2012年8月8日	朝日新聞「夢あきらめないで横浜市で被災地の子ども支援」
2012年8月23日	日本経済新聞「アフリカ会議 横浜市がPR」
2012年8月23日	神奈川新聞「「活力」や「対話」重視 来年6月に市内で開催TICADロゴ決定」
2012年8月31日	WEBELIEVE「サマーカンファレンス2012レポート」(参加セッション紹介)
2012年9月27日	さかえ10月号「MISIAの森プロジェクト」
2012年10月	エコレコ愛知創刊号「Special Interview学生実行委員長×MISIA」
2012年10月20日	中日新聞「Viva地球 一緒に考えよう 地球のこと、未来のこと」
2012年11月30日	北國新聞「COP10名誉大使MISIAさんがメッセージ」
2013年1月24日	JICAWEB「歌手MISIAさんがJICA-TICADオフィシャルサポーターに就任」
2013年1月25日	朝日新聞「MISIAさん「アフリカを知ろう」訴え ダボス会議」
2013年1月25日	NHKNEWSWEB「アフリカ開発会議への協力呼びかけ」
2013年1月25日	NHKキャスターブログ「ミーシャ@ダボス」
2013年1月29日	北陸中日新聞「英田小児童「MISIAの森」観察励む 虫や植物発見いっぱい」
2013年2月号	UNHCR Newsletter, 2013 Vol.1「インターンのチカラ 長島美紀」
2013年2月4日	GOETHE3月号「いま、一番気になる仕事 MISIA×滝川クリステル」
2013年2月5日	SOTOKOTO2013年3月号「MISIA連載 あふれ出る想い」
2013年2月6日	北陸中日新聞「MISIAの森 カマキリの卵みつけ」
2013年2月号	愛知県発行フリーペーパー「ecoReco aichi」第2号「MISIA 季節便り」(連載エッセイ)
2013年2月22日	西日本新聞「TICAD V名誉大使MISIAさん アフリカと日本つながっている」
2013年2月27日	朝日新聞「TICAD告知広告」
2013年2月28日	NTV news every. 16:53-19:00
2013年2月28日	NTV NEWSZERO 22:54-23:58
2013年2月28日	NHK総合 Bizプラス 23:35-23:50「アフリカ開発会議 名誉大使に任命」
2013年2月28日	TBS CSニュースバード http://news.tbs.co.jp/20130228/newseye/tbs_newseye5269396.html
2013年2月28日	時事通信
2013年2月28日	NHK http://www3.nhk.or.jp/news/html/20130228/k10015862441000.html
2013年3月1日	NTV ZIP! TOPPAGE 5:50-8:00
2013年3月1日	NTV Oha! 4 NEWS LIVE スポーツ&エンタメ 4:00-5:50
2013年3月5日	SOTOKOTO2013年4月号「MISIA連載 あふれ出る想い ダボスにて」
2013年3月10日	UNDP3月号ニュースレター「MISIAさんとUNDPの弓削昭子駐日代表・総裁特別顧問が対談をしました」
2013年3月16日	北國新聞「北國こども新聞 MISIAの森を守る」
2013年3月23日	Mainichi Weekly「Into Africa」
2013年4月5日	SOTOKOTO2013年5月号「MISIA連載 あふれ出る想い 緒方貞子氏との対談」
2013年6月号	JICA's World No.55「アーティストMISIA アフリカを感じる」
2013年4月	UNHCR Newsletter, 2013 Vol.2「TICAD V名誉大使MISIA」

3. 収支報告

正味財産増減計算書
平成24年5月1日から平成25年4月30日まで

一般財団法人mudef(単位:円)

貸借対照表
平成25年4月末日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増益の部			
(1) 経常収益			
事業収益	12,196,754	4,923,580	7,273,174
助成金収入	700,000		700,000
受取寄付金	11,704,253	41,178,686	-29,474,433
指定正味財産より振替	12,915,027		12,915,027
雑収益	4,769	4,814	-45
経常収益計	37,520,803	46,107,080	-8,586,277
(2) 経常費用			
事業費			
商品仕入高	0	2,107,139	-2,107,139
給与手当	4,145,700	2,251,600	1,894,100
法定福利費	682,111		682,111
通勤費	100,040	18,228	81,812
旅費交通費	2,771,117	962,080	1,809,037
通信費	314,371	191,869	122,502
運賃	210,895	99,073	111,822
広告宣伝費	242,340	2,145,595	-1,903,255
交際費	15,600	79,095	-63,495
会議費	233,201	148,564	84,637
印刷費	661,014	532,685	128,329
消耗品費	589,517	938,677	-349,160
図書費	248,202		248,202
租税公課	542	35,780	-35,238
支払手数料	49,577	58,118	-8,541
諸会費	500	46,732	-46,232
寄付金	4,100,000	21,917,803	-17,817,803
貸借料	130,183	1,500	128,683
外注費	16,206,565	4,451,364	11,755,201
支払報酬	1,333,360	222,222	1,111,138
保険料	42,197		
修繕費		192,605	-192,605
事業税	26,000	79,400	-53,400
事務用消耗品		498	-498
雑費	201,900	142,902	58,998
計	32,304,932	36,623,529	-4,318,597
管理費			
給与	1,487,800	395,200	1,092,600
法定福利費	105,056		
通勤費	58,800	26,832	31,968
旅費交通費	29,487	3,543	25,944
通信費	57,261	41,526	15,735
運賃	560	34,805	-34,245
交際費	33,075	103,305	-70,230
会議費	136,280	73,768	62,512
印刷費	86,135	80,108	6,027
消耗品費	7,880	8,480	-600
租税公課	61,400	1,000	60,400
図書費	20,000	4,095	15,905
支払手数料	6,090	8,452	-2,362
外注費	52,500		52,500
支払報酬			0
貸借料	360,000		360,000
雑費	0	21,970	-21,970
計	2,502,324	803,084	1,699,240
経常費用計	34,807,256	37,426,613	-2,619,357
当期経常増減額	2,713,547	8,680,467	-5,966,920
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外費用			
手持外貨評価損		831	-831
経常外費用計		831	-831
当期経常外増減額	0	-831	831
法人税等	172,200	384,800	-212,600
当期一般正味財産増減額	2,541,347	8,294,836	-5,753,489
一般正味財産期首残高	11,923,855	3,629,019	8,294,836
一般正味財産期末残高	14,465,202	11,923,855	2,541,347
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金等			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0
指定寄付金	11,358,290	30,527,616	-19,169,326
一般正味財産への振替額			0
規定寄付金指定解除額	12,915,027	29,071,400	-16,156,373
当期指定正味財産増減額	-1,556,737	4,456,216	-6,012,953
指定正味財産期首残高	11,556,732	10,100,516	1,456,216
指定正味財産期末残高	9,999,995	14,556,732	-4,556,737
III 正味財産期末残高	24,465,197	26,480,587	-2,015,390

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	21,853,941	20,947,826	906,115
未収入金	13,953	0	13,953
流動資産合計	21,867,894	20,947,826	920,068
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	24,867,894	23,947,826	920,068
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	90,176	1,485	88,691
未払金	114,321	8,254	106,067
未払事業税等	26,000	72,700	-46,700
未払法人税等	172,200	384,800	-212,600
流動負債合計	402,697	467,239	-64,542
負債合計	402,697	467,239	-64,542
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	9,999,995	11,556,732	-1,556,737
指定正味財産合計	9,999,995	11,556,732	-1,556,737
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(3,000,000)
2. 一般正味財産	14,465,202	11,923,855	2,541,347
正味財産合計	24,465,197	23,480,587	984,610
負債及び正味財産合計	24,867,894	23,947,826	920,068

4. 賛同企業・団体との連携

一般財団法人mudefは、多くの団体・企業の皆様からのサポートによって運営されています（敬称略・50音順）。

⇒ **Project Magoso**

特定非営利活動法人アマニ・ヤ・アフリカ
マイシャ・ヤ・ラハ基金

⇒ **Love is Free Campaign**

Consol Homes Orphan Care
PSI Malawi
住友化学株式会社
チョコレートデザイン株式会社
株式会社たき工房

⇒ **生物多様性普及啓発事業**

愛知県
アサヒビール株式会社
アパグループ
石川県
石川県森林公園
公益財団法人 イオン環境財団
金沢大学
環境省
国連広報センター
国連生物多様性条約事務局

国連大学

対馬野生生物保護センター

津幡町

津幡町英田小学校

日本航空株式会社

株式会社メープルハウス

公益法人日本ユースリーダー協会

（旧財団法人ユースワーカー能力開発協会）

⇒ **HOPE FOR JAPAN**

あしなが育英会

特定非営利活動法人アムダ

特定非営利活動法人国境なき医師団 日本

特定非営利活動法人ジェン

公益社団法人Civic Force（緊急即応チーム）

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

⇒ **広報活動**

株式会社dmp

⇒ **その他活動**

株式会社エル



団体概要

- ◆ 名称 一般財団法人mudef（ミューデフ）
- ◆ 設立年月 2010年5月21日
- ◆ 代表理事 谷川 寛人
- ◆ 事業対象分野 緊急支援／就学支援／環境保全活動／衛生支援
- ◆ 活動地域（実績含む） ケニア／マラウイ／石巻市／東北全域／石川県／横浜市
- ◆ 加盟する団体 特になし
- ◆ 理事（7名） [副代表] 信藤三雄／久保琢郎 [理事] 岡田武史／後藤新治／清水佳代子／堀木恵子／松中権
- ◆ 評議員（5名） 盛田正明／海部宣男／橋本福治／菅原茂友／太田正治
- ◆ 監事（2名） 小川恵司／菅原邦彦
- ◆ 事務局長： 長島美紀
- ◆ URL <http://www.mudef.net/>



